



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の傍線部の「いう」と「こと」を、漢字にできるものとできないものに区別しましょう。

- (1) アドバイスをいう。
- (2) あっという間の出来事
- (3) 大変なことが起こった。
- (4) 本を読むことが好きです。

豆知識 雑学コラム

漢字にできる、できない？

「いう」や「こと」は、「言う」、「事」

と漢字で表すことができます。そのため、パソコンやスマホで入力すると予測変換の候補に、ひらがなと漢字が出てきて迷ってしまったという経験をしたことがあるかと思いますが、「こと」の漢字とひらがなでの使い分けにつ

いて考えてみましょう。

まず、「いう」の意味や使い方について考えてみましょう。「いう」には「アドバイスを言う」のように、「声に出して言葉を言う」用法と「あっという間に」のように、「実際に声に出して言う」

があります。後者は「あっ」と実際に言っているわけではないですが、比喩として、「あっ」とちゃんとした言葉が言えないくらい速くという表現です。このように実際、言葉やセリフとして声を出してはいない場合には、「言う」と漢字では書かずに、「いう」と書くことで、「実際にそう言ったわけではない」ことを表します。「言葉として声に出して言うときは漢字」と抑えておきましょう。

次に、「こと」についてみていきましょう。「こと」を区別するポイントとして、言い換えができるかどうかのポイントです。漢字の「事」は、「事態」、「事件」、「事情」などと書き換えることができるように使います。例えば、「大変な事が起こった」は「大変な事態」や「大変な事件」と言い換えることができず、「あっ」と実際に言っているわけではないですが、比喩として、「あっ」とちゃんとした言葉が言えないくらい速くという表現です。このように実際、言葉やセリフとして声を出してはいない場合には、「言う」と漢字では書かずに、「いう」と書くことで、「実際にそう言ったわけではない」ことを表します。「言葉として声に出して言うときは漢字」と抑えておきましょう。

【解答】

- (4) (2) : いはぎこと古殿
- (3) (1) : おんぎこと古殿